

## 食品リサイクルループ推進に向けた取組の進捗状況報告

### ■平成 28 年度

#### バイオガス発電モデルプラントの整備

市の公募型補助金「宇部市バイオガス発電モデルプラント整備事業費補助金」の採択を受け、(株)アースクリエイティブが宇部テクノパークの食品リサイクルセンター敷地内にモデルプラントを整備。…別添パンフ「B I O G A S」参照

### ■平成 29 年度

#### (1) 生ごみ分別実証

バイオガス発電施設の整備による食品リサイクルループ構築においては、原料となる生ごみの分別排出が必要であるため、食品廃棄物排出事業者及び一般家庭の協力のもと生ごみ分別実証を行い、課題を整理する。また、分別排出された生ごみは、モデルプラントで処理し、各種データを分析するとともに、生成された液肥は宇部産液肥として市内農地で実証する。

##### ①事業系生ごみ分別実証

排出者：ANAクラウンプラザホテル宇部（1階レストラン）

期 間：平成 29 年 8 月 1 日～平成 29 年 10 月 31 日

収 集：毎週月～金の 5 日間

手 法：45ℓポリバケツ 2 個に直接生ごみを排出し、バケツごと回収・交換

留意点：モデルプラントの最大処理能力が 50 kg/日と小さく、原料の組成がプラントの稼働に与える影響が大きいため、下記のことを生ごみとしての排出から除外していただいた。

【メタン発酵槽で分解しにくいもの】…笹、とうもろこしの皮、パイナップルの皮

【メタン発酵を妨げるもの】…油、納豆、ヨーグルト、漬物、味噌、柑橘類

【メタン発酵槽に堆積するもの】…骨、貝類、タマゴの殻、甲殻類の殻

回収状況：

	8 月	9 月	10 月	計
回収量 (kg)	431	348	397	1,176
投入量 (kg)	383	328	375	1,086

##### ②家庭系生ごみ分別実証

排出者：東岐波 丸尾緑町（約 70 世帯）、花園（約 40 世帯）

期 間：平成 29 年 11 月 1 日～平成 30 年 1 月 31 日

収 集：毎週月・水・金の 3 日間（燃やせるごみの収集日と同一）

手 法：既存ごみステーションに設置した 45ℓポリバケツに排出

・前半（11 月 1 日～12 月 15 日）は、各家庭に配布した袋で排出（袋方式）

・後半（12 月 16 日～1 月 31 日）は、各家庭に配布した家庭用バケツからステーションのポリバケツに移し替える形式で排出

留意点：魚や鳥等の骨（小骨は除く）は、生ごみとしての排出から除外していただいた。

回収状況：11 月 回収量 652 kg 投入量 601 kg

【排出状況写真（家庭系生ごみ 袋方式）】



丸尾緑町



花園

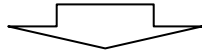
【課題】

分別排出について

- ・事業所は1者であるため、排出物に偏りがある。
- ・家庭系の排出物には、薬の外装、生理用品、紙屑等の異物混入が散見される。

プラント処理について

- ・異物確認や分別作業が必要で、全て手作業で行っているため手間が掛かる。
- ・各3箇月間であるため、プラントへの影響が原料の影響か環境の影響か掴みづらい。



家庭系生ごみ分別実証期間終了後に各世帯へのアンケートを実施予定

また、平成30年度は、最も生ごみが傷みやすく臭いが気になる夏期に分別実証を予定

(2) 食品リサイクル推進セミナーの開催

①排出・収集運搬事業者向けセミナー

日時：平成29年10月3日（火）13：30～15：00

内容：市の取組紹介

「事業系一般廃棄物の削減への取組」 宇部市 廃棄物対策課  
事例紹介

「マルイ環境活動 エコアクション21の取り組み 食品廃棄物削減と再利用」  
株式会社マルイ 総務部 環境対策室長 鈴木 豪 氏

意見交換

「事業系生ごみの分別排出と収集運搬における課題について」

参加者：排出事業者 8名 収集運搬事業者 15名 計23名

②市民向けセミナー（ごきげん未来フェスタに出展）

日時：平成29年10月14日（土）10：00～15：00

内容：食品リサイクルに関する説明とクイズがセットになったパネルを展示。  
ブース正面では、生ごみ分別排出に関するシール式アンケートボードを掲示。  
クイズやアンケートに協力いただいた来場者にはモデルプラントで生成された  
宇部産液肥（500ml）を提供。

参加者：クイズ58名 アンケート105名

結果：シール式アンケートの実施結果は次のとおり

設問1 生ごみと燃えるごみとを分別する場合の収集回数

選択肢	1回	2回	3回	計
生ごみ	8人	27人	69人	104人
	7.7%	26.0%	66.3%	
燃えるごみ (生ごみ以外)	59人	33人	13人	105人
	56.2%	31.4%	12.4%	

設問2 生ごみ分別手法

バケツ方式	袋方式 (生ごみ指定袋)	分別なし (機械選別)	計
19人	68人	16人	103人
18.4%	66.0%	15.5%	

### ③農業者向けセミナー

日時：平成29年12月25日（月）13：30～15：00

内容：市の取組紹介

「宇部市の食品リサイクルループ構築に向けた取組」

宇部市 地域エネルギー・バイオマス産業都市推進室

事例紹介

「大木町がめざす資源循環のまちづくり」

大木町 環境課 資源循環係 係長 北島 秀啓 氏

おおき循環センター センター長 北島 一義 氏

意見交換

「宇部市における液肥の利活用について」

参加者：農業委員1名、農地利用最適化推進委員5名、認定農業者6名、

認定新規就農者1名、JA山口宇部1名、モデルプラント運営者2名 計16名

## (3) アンケート

### ①排出事業者アンケート

事業所における生ごみ分別排出についてアンケートを実施

期間：平成29年8月21日～8月31日

回答：56事業所（食品廃棄物を排出している市内事業者）

### ②農業者アンケート

宇部産液肥の成分分析結果や液肥の利活用についてアンケートを実施

期間：平成29年11月2日～12月12日

回答：46件（農業委員、農地利用最適化推進委員、認定農業者）

## (4) 液肥の実証

モデルプラントで生成された宇部産液肥を、市内農業者2名（宇部市食品リサイクルループ推進協議会 農業者委員）の農地で実証使用中。また、宇部西高等学校にも使用依頼中。

(5) 宇部市食品リサイクルループ推進協議会の開催

食品リサイクルループ推進のため平成 28 年度に設置

【委員名簿】

氏名	組織・役職等	備考
今井 剛	山口大学 大学院創成科学研究科 教授	生ごみの処理に関する専門家 平成28年度協議会会長
西村 陽子	農業従事者	平成27、28年度液肥実証協力者
松富 博司	農業従事者	平成28年度液肥実証協力者
渡壁 正英	宇部市環境衛生連合会 副会長	ごみの分別指導
木下 昇	宇部市自治会連合会 副会長	地域への周知・啓発
中島 浩	株式会社アースクリエイティブ 専務取締役	食品リサイクル事業者 バイオガス発電モデルプラント整備事業者
山田 直樹	株式会社ユービーイーホテルズ 管理部 部長	食品残さ排出事業者
河村 竜太	宇部資源リサイクル協同組合 代表理事 有限会社ジー・ケーサービス 取締役	一般廃棄物収集運搬事業者 宇部市廃棄物減量等推進審議会 (宇部資源リサイクル協同組合)
原田 佳章	宇部環境保全事業協同組合 副理事 株式会社原田商店 代表取締役	一般廃棄物収集運搬事業者 宇部市廃棄物減量等推進審議会 (宇部環境保全事業協同組合)
中島 由加利	有限会社岩本商会	一般廃棄物収集運搬事業者 宇部市廃棄物減量等推進審議会 (旧:宇部清掃管理協同組合)
松永 芳明	山口宇部農業協同組合 営農経済部 部長	農業振興に関する専門家

第1回 平成 29 年 7 月 21 日

第2回 平成 29 年 10 月 4 日

第3回 平成 30 年 1 月 10 日